

資料No. 4

江田島市公共交通協議会
平成29年1月25日

中町/宇品航路に係る指定管理者のモニタリングについて

1 概要

○平成27年10月1日から指定管理者による運航となった中町/宇品航路について、1年間の運航状況のモニタリング結果を整理した。

2 モニタリング期間

平成27年10月1日～平成28年9月30日（1年間）

3 モニタリングの方法

（1）指定管理者からの報告

事業報告書・収支報告書や、四半期ごとの定期報告などの提出書類により確認

（2）市による立入検査の実施

- ・包括協定書等の遵守状況について、船舶及び指定管理者本社への立入検査を実施（船舶：H28.11.15，本社：H28.11.30）
- ・その他、船舶のドック入渠時に立会調査を実施

4 モニタリング結果

（1）運航状況

○人口減少が進展しているにもかかわらず、乗降客数は平成26年度と同水準を確保した。

○燃料費の低減や人件費の圧縮により、約3千万円の黒字運航を確保した。

（単位：人，万円）

運航主体	期間	乗降客数	収益		費用	経常損益
				うち営業収益		
市企業局	H24.4～H25.3	570,002	39,725	39,194	48,826	△9,101
	H25.4～H26.3	552,585	42,865	37,542	46,825	△3,960
	H26.4～H27.3	535,301	44,751	34,501	46,643	△1,892
	H27.4～H27.9 ※半年間	266,442	19,491	17,142	23,612	△4,121
指定管理者	H27.10～H28.9	535,604	34,512	34,394	31,038	3,474

(2) 総合評価

A判定（協定書等を遵守し，要求水準よりも優れている。）

【理由】

- 運航ダイヤを遵守し，運賃の徴収等を適切に行った。
- 利用者ニーズを反映し，小学生用の定期券を新たに販売した。
- 人員配置の工夫により，船員数を12名から10名体制に効率化した。
- 人口減少の中，黒字運航を達成した。
- 事業者負担で，トイレの改造（洋式化）やカーテンの新装等を施工するなど，自主的に利用者サービスの向上を図った。
- 陸員が可能な範囲で聴き取りを行なったものの，アンケート調査が未実施
- 委託事業者（港湾代理店）の接遇に改善の余地がある。

5 今後の対応

- 初年度の運航は適切になされたと認められる。
- 初年度は運航黒字となったものの，人口減少による収益減や，燃料価格などの不安定要素があるため，引き続き指定管理者との連携を密にし，今後の運航水準（ダイヤ・料金等）の確保に努めていく。

中町／宇品航路 指定管理者モニタリング評価シート
 (評価対象期間：平成27年10月1日～平成28年9月30日)

平成29年1月
 江田島市 企画振興課

1 指定管理の概要（基礎情報）

航路名	中町／宇品航路	運航区間	能美海上ロッジ～中町～高田～宇品間	
設置条例	江田島市旅客船設置及び管理条例			
設置目的	市民の海上交通を確保することで、市民福祉および地域振興に寄与する			
指定管理者が行う業務の内容および実施状況	(1) 定期航路等に関する業務 (2) 旅客船の維持および管理に関する業務 (3) 旅客船の利用の許可に関する業務 (4) 旅客船の利用料金(運賃)の徴収に関する業務 (5) その他江田島市長が定める業務			
旅客船の状況		ニュー千鳥	スーパー千鳥	ロイヤル千鳥
	総トン数	79.00	92.00	79.00
	進水年月	平成5年9月6日	平成9年6月11日	平成5年7月30日
	航海速力	26.00	26.00	26.00
	最高速力	30.20	33.90	30.20
	航行区域	平水	平水	平水
	旅客定員 1.5H未滿	220人	223人	188人
	機関製造所	ヤンマー	ヤンマー	ヤンマー
	指定管理者名	瀬戸内シーライン株式会社(広島市南区宇品海岸一丁目13番13号)		
代表者氏名	代表取締役 仁田 一郎			
選定区分	公募	利用料金制度の導入	有り(運賃は指定管理者の収入)	
指定期間	平成27年10月1日～平成32年9月30日＝5年間(第1期目)			
ホームページ	有り http://setonaikaikisen.co.jp/kouro/highspeedship4/			
運航ダイヤ	【平日便】23往復 ・始発(中町発)6:00, (高田発)6:07, (宇品発)6:33 ・終便(中町発)22:30, (高田発)22:22, (宇品発)22:58 【日・祝日・振替休日】21往復 ・始発(中町発)6:27, (高田発)6:34, (宇品発)7:00 ・終便(中町発)21:30, (高田発)21:22, (宇品発)22:00			

2 業務内容の確認方法

項目	実績	内容
事業計画書	○	事業年度開始前
定期事業報告書	○	年間, 四半期毎に実施
苦情・事件・事故対応状況報告書	○	随時
現地立会調査	○	ドック, 修繕時に実施
立入検査	○	事業年度完了後(各旅客船及び事業所)

3 乗降客、経常損益等の推移

(単位:万円)

	期 間	乗降客数	収 益			費 用	経常損益	
			営業収益	指定管理料	その他			
市交通船事業	H24.4～H25.3	570,002 人	39,725	39,194	—	531	48,826	△9,101
	H25.4～H26.3	552,585 人	42,865	37,542	—	5,323	46,825	△3,960
	H26.4～H27.3	535,301 人	44,751	34,501	—	10,250	46,643	△1,892
	H27.4～H27.9 ※6か月間	266,442 人	19,491	17,142	—	2,349	23,612	△4,121
指定管理期間	H27.10～H28.9 【今回】	535,604 人	34,512	34,394	0	118	31,038	3,474
	H28.10～H29.9							
	H29.10～H30.9							
	H30.10～H31.9							
	H31.10～H32.9							

注)H24～26年:市交通船事業での実績(市の会計年度による=4月～翌年3月)

H27年:指定管理者の事業実績(H27.10～H28.9)

4 評価

評価項目	評価内容	評 価	
		指定管理者 の自己評価	市(所管) の評価
① 指定管理者の要件 【特記事項】	応募時の要件を満たしているか? (市)納税、海上保険等の加入など、応募時の要件を満たしている。	B	B
② 運航日等 【特記事項】	運航ダイヤを遵守し、運賃の徴収、収納管理および割引等は適切に行われているか? (市)利用者ニーズを反映して、小学生用の定期券を新たに販売している。	A	A
③ 実施体制 【特記事項】	船員(資格取得状況を含む)の配置・指揮系統、業務日誌等の整備・管理、船員研修等が適切に実施されているか? (指定管理者) ○有給休暇時等の船員予備員を自社の他航路船員とワークシェアし、船員数を12名から10名体制に減少させ、経費の削減を図った。 ○各船にパソコン機器を導入し、業務日誌等の整備を適切に行っている(市) ○社内でのスケールメリットを生かし、実施体制の効率化を図っている。	B	A
④ 保守管理 【特記事項】	旅客船の保守管理、清掃等が適切に実施されているか? (市) ○これまで不定期だった船内ワックス掛けを、定期的に年間2回実施し、船内環境が向上した。	A	A

⑤ 安全対策	緊急事態発生時の対処マニュアルや連絡体制、役割分担が事前に徹底されているか？	B	B
【特記事項】	(市)緊急事態発生時の連絡体制等が確立されている。		
⑥ 事業の実施	航路の利用促進や経営改善等が図られているか？	B	A
【特記事項】	(指定管理者) ○人口減少の中、おおむね予測どおりの運航収益が確保できた。 ○給油場所を宇品港に変更し、燃料仕入れ価格の削減を図った。 ○ドック時に自社所有船「はやしお」を活用し、用船料を抑えた。 ●船舶の老朽化に伴い、機関部の不具合が多く発生したため、想定以上に修繕費を要した。 (市) ○乗降客数が微増しているとともに、経常損益が見込額を上回った。 ○船員配置や給油環境を変えることで、コスト削減が図られている。		
⑦ 利用者への対応	接客マナーや苦情等に適切に対応し、利用者ニーズの把握に努めているか？	B	B
【特記事項】	(指定管理者) ●アンケート調査は未実施であるが、陸員が可能な範囲で聞き取りを実施。 ●委託事業者(港湾代理店)に多少問題があるので、指導教育を実施する。 (市) ○事業者負担でトイレの改造(洋式化)やカーテンの新装等を施工し、利用環境を改善したほか、周遊パックやプランにより利用促進を図っている。 ●応募時に、指定管理者から提案のあった利用者アンケートが未実施。 ●船員の名札着用と港湾代理店にユニフォームの着用を要望する。		
⑧ 個人情報の保護	利用者名簿等の個人情報を適切に管理し、漏えい・滅失等の防止策を講じているか？	B	B
【特記事項】	(市)定期券購入者名簿等が、責任者を決めて適切に管理されている。		
⑨ 市との連絡調整	市からの指示等に適切に対応し、業務の報告・連絡・相談がされているか？	B	B
【特記事項】	(市)日頃から、報告・連絡等が実施されている。		
⑩ 地元や関係機関との連携	地元や関係機関との連携は適切にされているか？	B	B
【特記事項】	(市)本市関連イベント等に加わり、連携を図っている。		

総合評価	H27.10 ~H28.9 【今回】	H28.10 ~H29.9	H29.10 ~H30.9	H30.10 ~H31.9	H31.10 ~H32.9
	A				

(参考)評価の基準

	評価	内 容
評価基準	A(優良)	協定書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	B(良好)	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C(要改善)	協定書等の要求水準も満たしていない。
総合評価基準	A(優良)	指定管理者、市の評価にCが含まれず、かつAが4個(全体の1/3)以上ある
	B(良好)	A(優良)、C(要改善)に該当しないもの
	C(要改善)	指定管理者、市の評価にCが2つ以上含まれている。

5 収支状況

(単位:万円)

		H27.10 ~H28.9 【今回】	H28.10 ~H29.9	H29.10 ~H30.9	H30.10 ~H31.9	H31.10 ~H32.9	
営業 収益	1 旅客運賃	34,223					
	2 その他収益	171					
	3 営業収益合計	34,394					
営業 費用	運 航 費	4 燃料潤滑油費	8,920				
		5 代理店料	2,571				
		6 岸壁等使用料	726				
		7 その他の運航費	1,162				
	8 運航費計	13,379					
	船 費	9 船員費	8,737				
		10 修繕費	5,149				
		11 その他の船費	2,182				
		12 船費計	16,068				
	一 般 管 理 費	13 従業員給与	1,145				
		14 その他一般管理費	446				
		15 一般管理費計	1,591				
	16 営業費用合計	31,038					
	17 営業損益	3,356					
	18 営業外収益合計	118					
19 営業外費用合計	0						
20 経常損益	3,474						